

## 1 たすけあいプロジェクトについて

### (1) 目的

中山間地域の高齢者を含む全ての人が、住み慣れた場所でその人らしく、最後まで暮らすことができるよう、安全で自由な移動と、地域で安心して暮らすためのコミュニティを構築。

### (2) 実施主体

たすけあいプロジェクト運営協議会（令和元年6月～）

（構成員：名古屋大学、足助病院、豊田市、区長、社会福祉協議会等）

### (3) 取組の概要

足助、旭、稲武地区等の高齢者（主に独居高齢者）にタブレットを配布し、お出かけ促進、移動支援、健康維持を総合的に支援する。

#### ①お出かけ促進

健康教室やイベントの情報発信、足助病院での「タブレット教室」を開催

（たすけあいカーの使い方、脳トレゲーム、懐メロ視聴など）

#### ②移動支援

・共助のマイカー（たすけあいカー）：地域住民がマイカーを使って高齢者を送迎（無償運送）

・タクシー相乗り（タクシム）：システムにより相乗りをマッチング

#### ③健康見守り

「独居高齢者」の生活の状態を人感センサーで感知し、家族、足助病院、地域が見守る。

## 2 稲武地区におけるお出かけ促進の実施

○稲武地域は名古屋大学の実証実験によりプロジェクトを推進しており、地域バスのモビリティマネジメント（MM）を実施する。

○地域バスの利用促進を図りつつ、今後導入するたすけあいカーとの役割分担により高齢者の外出促進を図っていく。

項目	内容
目的	高齢者の外出を促し、健康増進を図る。
実施期間	令和元年9月～令和2年1月 5か月間
対象者	たすけあいプロジェクト参加者、75歳以上の高齢者（約650人）
実施内容	高齢者に地域バスの利用券と稲武福祉センターのお風呂の入浴券を配布し、外出を促すMMを実施する。
配布内容	プロジェクト参加者：無料入浴券10枚、地域バス利用券4枚 75歳以上の住民：無料入浴券2枚、地域バス利用券4枚 ※利用券の有効期限は実施期間内とする
対象者の抽出方法	①8/6の区長会にて、高齢者名簿の提出の依頼、各区長より事務局に提出(8月中) ②チケットの準備（参加者はIDをつける、一般住民はなし） ③老人会で告知、配布（名簿に配布した人をチェックする）

### 稲武福祉センター公衆浴場の概要

- 入浴料は1回150円、男性用と女性用の公衆浴場がある（利用は65歳以上）。
- 月～木曜の午前中は片方のお風呂を、金曜の午前中は両方のお風呂をデイサービスで利用しているが、それ以外は入浴可能である。



### 【利用券イメージ】

- 無料の利用券
- 利用後、名古屋大学から運行事業者及び福祉センターへ支払い

